



また、一年が過ぎようとしています。この年は如何だったでしょうか。私は身体が強くなってきましたが、妻は疲れやすくなってきました。妻は子供の頃、胃腸が弱く、何を食べても下痢をするので、いろいろな医者に行ったのですが治らず、栄養不良で髪があまり生えなかつたそうです。ある医者に行ったら、「下痢しても何しても、ともかく食べさせなさい。」と言われ、少しずつ良くなり、ビオフェルミンをお菓子代わりに食べていたそうです。それらもあつて、基本的に身体の組成が弱いようです。

医学部では、体調を崩して学業が困難になり、卒業もできない状態でした。うつ症状も出ていて将来が危ぶまれた時に私たちは結婚し、私としては医師になることは半分諦めていました。そんな妻が元氣になり始めたのが、低血糖症の治療と長男の誕生でした。長男を喜びながら氣力が充実してきて医師国家試験に受かつたのでした。医局にいた時は、往復100キロを運転して関連病院に通い、疲れで居眠り運転をしまい、開業を私が決意しました。夜中まで医局があるので、無理だと思つたからですが、まだ十分な健康ではありませんでした。

患者さんへの真摯な対応は、自分の身体が弱かつたからでしょう。元氣を装っていますが、家に帰つてからは疲れ果てて寝ていました。それでも日曜礼拝は欠かさず、ピアノの演奏をしていました。信仰を柱に、子供や患者さんへの義務感が家内を強くしていったのです。

そんな妻が、この夏に体調を崩しました。7月に血液検査でフェリチン(貯蔵鉄)が急激に下がりました。そして、8月の旅行では不整脈を起しました。なにか変だと、総合病院に行き内視鏡検査をすると腸壁が弱いのので、カメラが入らないと言われながら、看護師に抑えられて進むと、回盲部にガンが見つかりました。転移はないようですが、念のため胃カメラやその他の検査も12月にして、1月4日に手術となりました。

長女はカナダで12月に出産なので代診も頼めず、とりあえず1月14日まで休診とします。受付と憐ヨーゼフは7日(月)からは開けますが、医師がいないので、処方等はできません。妻は64歳です。ご不便をお掛けしますが、患者さん中心の医療も難しくなると感じています。早期発見の大腸がんは完治率が高いようですが、これからは診察も抑え目になります。申し訳ありません。どうぞ、ご理解ください。

事務長 柏崎久雄

### 感染症で受診される方へ

発熱やくしゃみ・咳症状のある方、水ぼうそう等伝染性疾患の方は、入口、待合室・診察室、会計の流れが異なります。また、トイレ後のハンドソープによる手洗いに協力ください。

#### ★ 入口

正面入口横の中央通路のインターホンを押して下さい。

#### ★ 待合室・診察室

2階の、第二待合室です。

#### ★ 会計

疾患によっては、廊下会計となる場合があります。

### ヨーゼフのキャンペーン

(1月19日(土)午前まで)  
ビタミンA, セレノアZ

### 聖書を読む会

12月18日(火)午後2時~2時20分  
当院待合室にて行います。  
1月は22日(火)です。

- \* 年末は29日(土)午前まで、年始は1月15日(火)からとなります。
- \* インフルエンザの予防接種は1回3,780円(税込)です。小児の方は母子手帳をお持ちください。ご希望の方は、午前は9時迄、午後は通常の受付時間内にお越し下さい。ワクチンが無くなり次第、終了となります。千葉市の高齢者助成は満65歳以上で、自己負担1,800円(生活保護、市民税非課税世帯は無料、12月31日まで)です。公立小中学校、市立高等学校在籍者がインフルエンザと診断された際、治療証が必要でしたが11月より不要となり、保護者が記載する療養報告書の学校への提出が必要となりました。
- \* 病児保育のご利用には、施設ごとの事前登録が必要です。書類は、ホームページからのダウンロードか、当院1階受付で配布しています。
- \* 栄養指導を前日までにご連絡がなくキャンセルした場合、1080円のキャンセル料が掛かります。なお、管理栄養士が忙しくなっているため、予約枠が減りました。また来年より当日キャンセル料は2160円となります。
- \* 体組成計を健康管理にお役立て下さい。体脂肪量や筋肉量を始め、筋肉の左右バランス、内臓脂肪レベル、基礎代謝量、骨量などの測定ができます。栄養指導のご予約を頂いている方は無料で、その他の方は1回300円(税込)で測定できます。

## 《 予防接種の種類と内容 》

病気に対する抵抗力(免疫)は、百日せきや水痘(みずぼうそう)では生後3か月まで、麻しん(はしか)やおたふくかぜでは生後12か月には殆どが自然に失われていきます。そのため、この時期を過ぎますと、赤ちゃん自身で免疫をつくって病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。赤ちゃんの予防接種は種類も回数も多いので、かかりつけ医をきめ、生後2か月になったら接種がスタートできるように準備しておきましょう。

### ＜予防接種を受ける時の注意＞

- (1) 生後2か月を過ぎたら、まず「**ヒブワクチン**」「**小児肺炎球菌ワクチン**」「**B型肝炎ワクチン**」を受けましょう。そして生後3か月を過ぎたら、「**四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)**」の予防接種を受けましょう。
- (2) 「**BCG(集団接種)**」は6か月になる前に受けましょう。4か月児健診の時に受けられます。
- (3) 1歳になったら、「**麻しん風しん混合**」「**水痘**」の予防接種を受けましょう。
- (4) 予診票つづりは出生届提出時に配布します。予診票は実施医療機関や集団接種会場にもあります。
- (5) 接種間隔の日数は、翌日から数えます。予防接種当日は日数に含まれません。

### ＜四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)＞ ※公費:無料

**第1期:**生後3ヶ月以上90ヶ月未満が対象、20日～56日の間隔をおいて3回、12～18ヶ月間隔をおいて追加接種を1回。計4回。

**第2期:**11～12歳時に二種混合(ジフテリア・破傷風)を1回接種。(忘れることが多い。)

- **ジフテリア**は菌の飛沫感染で口や鼻に入って発症します。症状は、高熱、のどの痛みや強い炎症があります。菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こす場合があります。
- **百日せき**も菌の飛沫感染で起こります。百日せきは普通かぜのような症状で始まります。乳幼児はせきで呼吸ができず、せきのあと急に息を吸い込むので、笛を吹くような音がでます。唇が青くなったり(チアノーゼ)、けいれんが起きることがあります。肺炎や脳炎などの重い合併症を起こし、乳児では命を落とすこともあります。
- **破傷風**は土の中にいる破傷風菌が傷口から体内へ入ることによって感染します。菌の毒素のために、咬む筋肉のけいれんにより口が開かなくなったり、体がかたくこわばって後弓反張と呼ばれるひどいけいれんを起こしたりすることがあります。重症化すると、日光や音の刺激で全身がかたくこわばり、次第に激しさを増して死に至ることもあります。
- **ポリオ**の感染は、ヒトの糞便中に排出されたウイルスが経口又は咽頭から侵入することによって感染します。潜伏期間は4～35日間です。ほとんどは症状が出ませんが、約5%～10%の人は夏かぜ症候群と呼ばれる軽症の上気道炎又は胃腸炎症状が出て、夏期に流行します。**感染者の1,000人～2,000人に1人に麻痺が出て、一部のものは永久に麻痺が残ります。**

### ＜麻疹・風疹混合＞ 8,856円 ※公費:無料

**第1期:**1歳以上2歳未満に1回接種。

**第2期:**5歳以上7歳未満で、小学校入学前年度1年間に1回接種。

- 麻しん(はしか)は、麻しんウイルスの空気感染・飛沫感染・接触感染によって発症します。ウイルスに感染後、無症状の時期(潜伏期間)が約10～12日続きます。その後症状が出始めますが、主な症状は、発熱、せき、鼻汁、めやに、赤い発しんです。症状が出始めてから3～4日は38℃前後の熱とせきと鼻汁、目やにが続き、一時熱が下がりがけたかと思うと、また39～40℃の高熱となり、首すじや顔などから赤い発しんが出始め、その後発しんは全身に広がります。高熱は3～4日で解熱し、次第に発しんも消失します。合併症を引き起こすことが30%程度あり、主な合併症には、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などがあります。また、麻しんにかかると数年から10数年経過した後には亜急

性硬化性全脳炎 (SSPE) という重い脳炎を発症することがあります。これは、麻しんにかかった者のうち約 10 万人に 1 人の割合で見られます。

- 風しんは、風しんウイルスの飛沫感染によって発症します。ウイルスに感染してもすぐには症状が出ず、約 14～21 日の潜伏期間がみられます。その後、麻しんより淡い色の赤い発しん、発熱、首のうしろのリンパ節が腫れるなどが主な症状として現れます。また、そのほかに、せき、鼻汁、目が赤くなる(眼球結膜の充血)などの症状がみられることもあります。子どもの場合、発しんも熱も 3 日程度で治ることが多いので「三日ばしか」と呼ばれることがあります。合併症として関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。大人になってからかかると子どもの時より重症化する傾向が見られます。妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、聴力障害などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

#### <日本脳炎> 5,832 円 公費(無料)

第 1 期(全 3 回): 生後 6 ヶ月以上 90 ヶ月(7 歳半)未満、初回接種の標準は 3 歳、1～4 週の間隔をあけて 2 回実施、追加接種は初回接種から約 1 年後(標準は 4 歳)に実施

第 2 期(全 1 回): 9 歳以上 13 歳未満

- 平成 7 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日生まれの方は、20 歳未満の間に未接種分全てを、平成 19 年 4 月 2 日～平成 21 年 10 月 1 日生まれの方は、9 歳～13 歳未満の間 1 期の未接種分を定期予防接種が受けることができるようになりました。
- 日本脳炎ウイルスの感染で起きます。ヒトから直接ではなく、ブタの体内で増えたウイルスがコガタアカイエカによって媒介され感染します。潜伏期は 7～10 日で、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害及びけいれんなど症状を示す急性脳炎になります。脳炎のほか髄膜炎や夏カゼ様の症状で終わる人もいます。脳炎にかかった時の死亡率は約 20～40%ですが、神経の後遺症を残す人が多くいます。

#### <Hib(ヒブ:インフルエンザ菌 b 型)> 7,776 円 任意、公費無料(2～5 歳未満)

・2 ヶ月以上 7 ヶ月未満で接種(全 4 回): 4～8 週間の間隔で 3 回接種後、7 か月以上あけて 1 回接種。

・7 ヶ月以上 12 ヶ月未満で接種(全 3 回): 4～8 週間の間隔で 2 回接種後、7 か月以上あけて 1 回接種。

・1 歳以上 5 歳未満で接種開始: 1 回のみ接種。

- ヒブ(Hib)はインフルエンザ菌 b 型の略称ですが、冬場に流行するインフルエンザとは異なるものであり、細菌による飛沫感染で、肺炎や喉頭蓋炎、敗血症、細菌性髄膜炎などを起こすことがあります。特に、ヒブ髄膜炎は、乳幼児が感染すると治療を受けても約 5%が死亡し、約 25%が発育障害(知能障害)や聴力障害、てんかんなどの後遺症が残る恐ろしい病気です。

#### <小児肺炎球菌(プレベナー)> 9,720 円 任意、公費無料(2～5 歳未満)

・2 ヶ月以上 7 ヶ月未満で接種開始(標準)、27 日以上の間隔で 2 回目接種、27 日以上の間隔で 3 回目接種後、60 日以上の間隔かつ 1 歳になってから 4 回目接種。

・接種開始が 7 ヶ月以上 12 ヶ月未満の場合は、27 日以上の間隔で 2 回接種、その後 60 日以上の間隔かつ 1 歳になってから 3 回目接種。

・1 歳以上 2 歳未満で接種を開始した場合は、60 日以上の間隔で 2 回接種。

・2～5 歳未満で接種の場合は、接種回数は 1 回のみ。

- 肺炎球菌にかかると、髄膜炎や菌血症、肺炎、中耳炎などの感染症を引き起こします。大人がかかると肺炎になることが多いですが、乳幼児がかかると、後遺症を起こすことがある髄膜炎、菌血症などの重い感染症になりやすくなります。

#### <子宮頸がん> ガーダシル 18,360 円、サーバリックス 17,280 円 任意、公費無料

- 子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス、ガーダシル)は、副反応の事もあるため、当院では現在積極的な勧奨を差し控えております。

**<インフルエンザ>** (医療機関毎に料金が違います。65歳以上の方は助成があります。)

生後6か月以上～一律3,780円(税込)、市内65歳以上の方…1,800円

(2回目が必要な際にも予約は受け付けておりません。早めに1回目をお済ませください。)

- ・ マリヤ・クリニックは可能な限りチメロサル(防腐剤)の入っていないワクチンを用います。(製造が無く入荷出来ない事もあります)
- ・ 2回接種する場合は3週間から4週間の間隔をおくものとする。
- ・ 接種当日は予診票に必要事項を記載しお待ち下さい。(または受付で記入)
- ・ 65歳以上の低所得者の方には減免措置があります。

マリヤ・クリニックの接種開始：10月1日より。 先着約900名です。

インフルエンザ予防接種専用時間(マリヤ・クリニック)

〈平日〉午前8:30～9:00 午後2:30～5:30 〈土曜〉午前8:30～9:00 午後2:00～4:00

**<A型肝炎>** 7,776円 1歳以上を対象に任意の予防接種。

2～4週間隔で2回、24週を経過した後に1回、合計3回接種

**<B型肝炎>** 0.5m、0.25ml 共に5,250円 ※公費:無料

生後2か月から1歳未満まで接種可能。4週間隔で2回、1回目から139日以上あけて1回、合計3回接種

**<流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)>** 5,400円 任意接種。

1歳以上接種、3～5年あけて2回目。年齢を重ねるにつれ重症化する。

**<水痘(水ぼうそう)>** 7,560円 ※公費:無料

(公費)1歳以上3歳未満が対象 ①初回 ②初回から3か月以上3歳未満で2回目

接種後1～3週後に発熱、発疹が出ることがあり、まれに接種直後から翌日に発疹、じんましん、発熱などの過敏症状が現れることがある。ワクチン接種者の10～30%は水ぼうそうにかかる可能性があるが、軽い症状で済むことが多い

**<ロタウィルスワクチン>** (経口ワクチン・任意接種)

① ロタリックス(2回法) 14,040円 対象月齢：生後6週から24週まで

初回接種から4週間以上あけて2回目接種。

② ロタテック(3回法) 9,720円 対象月齢：生後6週から32週まで

初回接種から4週間以上の間隔で3回目接種。

**<成人用肺炎球菌ワクチン>** 7,776円 ※公費：3,000円

65歳以上の方で過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことが無い方は公費対象となる可能性がありますので、お問い合わせください。

《診療時間》

月曜～金曜(午前8時30分～11時50分、午後2時30分～5時30分)

土曜(午前8時30分～11時50分、午後2時～4時)

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・ 各種健康保険取扱機関
- ・ 生活保護指定機関
- ・ 介護保険取扱機関
- ・ 特定疾患取扱機関
- ・ 結核予防法指定機関
- ・ 自立支援医療機関
- ・ 身体障害者認定医
- ・ 各種健康診断
- ・ 小中台小学校校医
- ・ 栄養医学(分子整合医学)



(携帯サイトへ)